

令和4年度 教育部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(教育部関係分)

政策
06
子育て・
教育

政策展開の方向性

子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくりま
す。
教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつ
つ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康
な子どもたちを育てます。

令和4年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）

06-02 子どもの教育の充実

- ・児童生徒の学びの保障のため、衛生用品の確保・配置等、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の徹底に努め、安全・安心な学校運営を図ります。
- ・「江別市小中一貫教育基本方針」に基づき、令和5年度からの市内全中学校区での小中一貫教育導入に向けて、中学校卒業時における「目指す子ども像」を学校・家庭・地域で共有を図りながら、中学校体験登校や教員の合同研修を実施し、義務教育9年間の系統性と発達段階に応じた連続性のある教育を推進します。
- ・国が進める「GIGAスクール構想」に合わせ、全学年に1人1台タブレット端末を配置し、教員へのサポート体制を充実することで、義務教育9年間を通じた系統的な児童生徒の情報活用能力育成を図るとともに、協働的な学びと個別最適な学びの実現を目指します。あわせて、オンライン学習に必要な環境を整備し、緊急時の学びの保障を進めます。
- ・地域とともにある学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援ボランティアの全市的派遣を継続するとともに、相互に連携して子どもを育てる持続可能な仕組みづくりのため、引き続き、えべつ型コミュニティ・スクール事業を進め、家庭や地域の積極的な教育活動への参画を促します。
- ・児童生徒が授業の内容を理解し、確かな学力を定着できるよう、学習サポート教員の派遣や外国語指導助手による授業など、一人ひとりの個性やニーズに応じたきめ細やかな教育を推進します。
- ・心身ともに健康な子どもたちの育成のため、大学と連携して、モデル校での体力向上事業を継続するほか、大学教員による出前授業や走り方教室などを通じて、児童生徒の体力向上に取り組みます。
- ・学校における読書活動の充実を図るため、学校図書館の蔵書率向上を進めるとともに、情報図書館と連携し、司書の巡回配置と学校要望に応じた随時支援により環境整備や朝読書などの教育活動支援を行います。
- ・悩みを抱える児童生徒への支援の充実のため、スクールソーシャルワーカーが学校・福祉・医療などと連携して課題解決に取り組むほか、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のため、いじめを許さない意識の醸成と相談窓口の周知に努めます。
- ・増加が続く不登校児童生徒の社会的自立に向け、適応指導教室「すぽっとケア」のスタッフを増員し、支援体制の強化を図ります。
- ・障がいのある児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援教育支援員の配置の拡充や施設整備を行うほか、医療的ケアを必要とする児童生徒の受け入れを進めます。
- ・令和4年度に札幌市に開設される、夜間中学に通学する市民への就学支援に取り組んでまいります。
- ・安全で安心な教育環境確保のため、「江別市学校施設長寿命化計画」に基づき、学校施設・設備の計画的改修と適切な維持管理に努めます。
- ・「江別市立学校における働き方改革推進計画」に基づき、各校に高速カラー複合機を設置し、印刷業務の時間短縮を図るなど、教職員の働き方改革を推進します。
- ・地域全体で青少年の健全育成に取り組む活動を推進するため、青少年育成団体等との連携強化に努めるとともに、感染症対策の徹底を講じた上で、体験的な学習活動の機会充実を図ります。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標
子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	50.0	47.9	51.1	↗
教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	88.5	84.1	90.4	↗
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	81.7	83.5	81.9	—	↗
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「学校教育基本計画」 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童生徒の割合	%	76.2	76.6	75.3	77.0	↗

政策展開の方向性

市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。

令和4年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）

07-01 生涯学習の充実

- ・市民が日常的に生涯学習に親しみ、充実した活動を行う機会を確保するため、「江別市公民館等長寿命化計画」「江別市情報図書館長寿命化計画」に基づき、施設の適正な維持・改修整備を計画的に進めます。
- ・市民の交流や学習活動の拠点となる、公民館や情報図書館などの社会教育施設の感染症対策を徹底し、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、多様な学習活動の機会確保に努めます。
- ・社会教育関係団体が主体的・自立的に活動を展開していけるよう、事業費の補助や公民館等の使用料減免など、安定的な運営に向けた支援を行います。
- ・市内大学等と連携して「えべつ市民カレッジ」を、感染症対策の徹底を講じた上で実施し、日々の生活や地域づくりに活かすことのできる知識が得られる機会の確保や情報提供を進めます。

07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

- ・文化・芸術鑑賞の機会や活動の場を確保するため、市民文化ホールや郷土資料館、セラミックアートセンターをはじめとする文化施設の感染症対策を徹底し、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、音楽会や企画展、各種講座の充実を図ります。
- ・江別の酪農産業の歴史を後世に伝えるため、老朽化した「旧町村農場」施設の保存利活用に係る方針の策定と施設改修工事の設計を行います。
- ・「北海道林木育種場旧庁舎」の歴史的価値を市内外に広く周知することを目指し、施設のPR活動を実施します。
- ・文化・歴史遺産を後の世代に正しく継承していくため、埋蔵文化財の調査や史跡の保存等を行い、貴重な歴史的資料の保護に努めます。また、移転した収蔵施設で管理する資料を活用して、郷土資料館の展示を充実させるとともに、各種講座の開催等を通じて、市民への郷土史学習の機会提供に努めます。
- ・個人・団体による自主的な文化・芸術活動を推進するとともに、活動団体の安定的な運営に対する支援を行います。

07-03 市民スポーツ活動の充実

- ・市民が日常的にスポーツに親しみ、充実した活動を行う機会を確保するため、体育館をはじめとするスポーツ施設の感染症対策を徹底し、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、「江別市スポーツ施設長寿命化計画」に基づき、施設の適正な維持・改修整備を計画的に進めます。
- ・市民スポーツの環境向上と市民の健康増進を図るため、あけぼのパークゴルフ場のコース増設工事を行います。
- ・令和5年度のインターハイ北海道大会が江別市のスポーツ振興につながるよう、市内の競技実施に向けた体制整備を進めます。
- ・幅広い年齢層に対応した活動機会の提供及び地域や関係団体との連携によるスポーツ活動団体活性化のため、感染症対策の徹底や注意喚起を行いながら、活動団体への支援や軽スポーツの普及推進、スポーツ教室を開催します。
- ・体育施設管理団体と連携して、利用者アンケート等により市民ニーズを的確に把握し、体育施設の利便性向上と利用促進を図ります。
- ・スポーツへの関心を高め、市民スポーツの推進を図るため、感染症対策の徹底や注意喚起を行いながら、スポーツ合宿誘致や障がい者スポーツの支援に取り組みます。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合	%	33.2	29.4	29.5	24.9	↗
文化・芸術活動に参加している市民割合	%	-	23.2	26.7	22.8	↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合	%	40.2	40.6	49.2	42.6	↗

教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「社会教育総合計画」 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合	%	72.0	60.4	69.9	64.2	↗
「社会教育総合計画」 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合	%	45.1	34.9	38.9	42.1	↗
「スポーツ推進計画」 スポーツ機会が充足していると思う市民割合	%	76.5	62.6	70.4	65.9	↗

2. えべつ未来戦略(教育部関係分)

戦 略	■具体的施策 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり	②教育内容の充実 「小中一貫教育推進事業」(学校教育課) 「小中学校学習サポート事業」(学校教育課) 「GIGAスクール構想推進事業」(学校教育課) 「小中学校外国語教育支援事業」(学校教育課) 「スクールソーシャルワーカー事業」(教育支援課) 「医療的ケア児支援事業」(教育支援課)
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり	

3. 教育部の資源

		実 績			予算額	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	2,267,882	2,280,931	3,911,468	2,599,849	2,763,904
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	2,267,882	2,280,931	3,911,468	2,599,849	2,763,904
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	101.00	98.00	95.00	95.00	94.00
	平均単価 (b)	7,627	7,687	7,629	7,602	7,768
	人件費 (a×b)	770,327	753,326	724,755	722,190	730,192
総 額		3,038,209	3,034,257	4,636,223	3,322,039	3,494,096